

緑のサヘル 2022年度 活動紹介

【ブルキナファソ】

2022 年は、ブルキナファソにとって激動の一年となりました。ここ数年続いている武装勢力による襲撃がより激しさを増し、1 月と 9 月にはテロ対策の充実を求めた一部軍人によるクーデターが起きました。しかし、いずれの政権も十分な成果を上げることは出来ず、190 万人を越える避難民が発生しました。このため、各地で食糧や物資が不足・高騰し、住民生活は危機的な状況に陥ってしまいました。「緑のサヘル」の拠点であるコングシ地域でも治安の悪化は甚だしく、活動は大幅な変更や中止を迫られることとなりました。

● 小学校緑化支援 ●

小学校が行なう校庭緑化活動を支援し、生徒たちに木の育て方や緑の大切さについて、体験を通して学んでもらう活動です。「緑のサヘル」は現地の NGO や行政機関、また各校の教師や保護者と連携しつつ、苗木や資機材の配布、植林に関する講習、普及員による巡回指導、成績発表会の開催等を行なっています。

この活動は 2007 年より始められ、2013 年までに延べ 22 校によって約 5,400 本の苗木が植えられました。2014 年からは新規校を対象とした第 2 期がスタート、2021 年までに延べ 14 校によって計 3,600 本の苗木が植えられています。見上げるほど大きな樹木になったものも多く、学習環境の改善に大きく貢献しています。



熱風や砂埃の中での授業。



成長した苗木に囲まれた校舎。



校舎を囲む涼しげな木立。

（ 2022 年の小学校緑化支援 ）

活動は安全状況を慎重に確認しつつ進められました。7 月には現地 NGO、環境局、教育局と共に、2021 年度植林の「評価調査」（苗木の成育状況、活動への参加度合、用具の管理等の確認）を実施、また各校の生徒や教師、保護者の代表等、計 60 名が参加する「成績発表会」（成績の発表、慰労表彰、用具の供与）を開催しました。前年からの水不足と治安悪化による登校率の低下によって、苗木の残存率は 68%に留まりましたが、各校関係者の熱意と頑張りによって成果を残すことが出来ました。8 月には 2022 年度の植林がスタートし、10 校の生徒・教師・保護者によって計 450 本の苗木が植えられています。



「成績発表会」には 60 名が参加。



各校に植林用具を供与。



各校に配布する苗木の積み込み。

● 村落植林 ●

地域の植生回復や湖岸沿いの土地の有効利用、生活林の造成を目的とした活動で、2008 年以来、延べ 11 村において約 163,000 本の植林を行なっています。「緑のサヘル」は、現地 NGO と協力して各村の植林希望者を募り、苗木や必要資機材の配布、普及員による巡回指導を行なっています。成長した木々は伐採され、薪として各家庭で利用されるほか、用材として販売され家計を助けています。



2010 年



2013 年



2016 年

(2022 年度の村落植林)

6 月に 2021 年に植栽した苗木に関する追跡調査を実施、5,290 本中 5,032 本の残存を確認しました（残存率 95.1%）。また、苗木が植えられた 6 村（8 植栽地）において、計 111 名（男 68、女 43）もの住民が灌水作業に参加する等、村々の積極的な姿勢も併せて確認出来ました。しかし 2022 年度については、植栽時期である 11～12 月に急激に治安が悪化、各村と検討の上、新たな植林は行なわず灌水作業のみを継続することとなりました。

【チャド共和国】

現地における活動は、2006 年 12 月に終了した難民キャンプでの活動を最後に休止状態が続いています。今年度も、国際機関や報道関係の web サイトを中心に、食糧事情や治安関係の情報収集を定期的に行ない、整理・分析した結果をニュースレターに掲載する等、発信に努めました。

【日 本】

東京事務局では現地活動をサポートするため、情報発信や自己資金の改善に向けた様々な取り組みを実施しています。ここ 2 年はコロナ禍の中での活動でしたが、2022 年度はその緩和を実感する 1 年となりました。

「講演・講師」については、一般（3 回）、NGO（2 団体）、大学（2 校）、中学校（5 校）、小学校（1 校）を実施、計約 1,200 名の方々に現地の状況や当団体の活動について紹介することが出来ました。また、一般・支援者への広報と報告を目的とした「ニュースレター」の発行（4 回）、アフリカ紹介と活動資金の獲得を目指した「カレンダー」の製作・販売、写真資料の貸出（3 社 1 団体）を行なったほか、3 年ぶりに「国際交流イベント」に出展（1 回）しました。



2022 年度は計 14 回の講演を実施。



2002 年から続いているカレンダー。



3 年ぶりのイベント出展。